

建設コンサルタンツ協会中部支部
若手の会 WG

令和7年度活動報告書

令和8年3月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部

若手の会 WG

- 目 次 -

1. 活動目的と WG メンバー	1
1.1 活動目的	1
1.2 WG メンバー	1
2. 活動内容	2
2.1 各種会議等の開催	2
2.2 「建コン WILLSUMMIT 2025」への参加	4
2.3 中部支部役員と若手の会・女性の会の意見交換会	7
2.4 インフラ整備構想協議会	10
2.5 学生 PR	11
2.5.1 「JobCafe in 名古屋」の開催	11
2.5.2 あいち建設未来サロンへの参加	12
2.5.3 建設技術フェア 2025in 中部	13
2.5.4 産官三機関合同インターンシップ	14
2.5.5 建設コンサルタントフェア□	15
2.6 図夢 in 中部への投稿	17
3. 感想と今後	19
3.1 年間の活動を通して	19
3.2 来年度の活動方針	19
3.2.1 未来の若手技術者を確保する取り組み（学生 PR）	19
3.2.2 若手技術者の意識を良い方向へ	19
3.2.3 会社同士のつながりによる業界の発展	20

1. 活動目的と WG メンバー

1.1 活動目的

中部若手の会 WG は、リーダーとして活躍する人材の育成や若手技術者同士の切磋琢磨、業界の活性化を目的に、平成 29 年 4 月から任期を 2 年として発足しました。

今期は、5 期目として 3 社（3 名）を公募により増員し、15 名が参加しています。

★建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして活躍する人材育成

WG メンバーが、建設コンサルタント業界を担うリーダーとしての資質向上を図るため、定期的な WG を開催しました。WG を通じて若手技術者同士での意見交換、業界の活性化に向けた議論を実施しました。

★業界活性化（入職率アップと離職率ダウン）

建設コンサルタント業界は、知名度が低いこと、長時間労働等による高い離職率が大きな問題となっています。そのため、建設コンサルタントの知名度を向上させることを目的とした“業界 PR 活動”、労働環境の改善に向けた“業界の意識調査”を軸とする活動に取り組んでいます。

1.2 WG メンバー

《リーダー》☆	篠原 一輝	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
《サブリーダー》☆	小笠原 聡	株式会社フジヤマ
《サブリーダー》☆	横塚 有貴	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
☆	長井 克成	株式会社カギテック
☆	北條 彰人	株式会社建設技術研究所
☆	徳田 真輝	株式会社エイト日本技術開発
☆	田口 諒	中央コンサルタンツ株式会社
☆	染矢 嵩文	株式会社国際開発コンサルタンツ
☆	司城 叶	日本工営都市空間株式会社
☆	中村 元紀	八千代エンジニアリング株式会社
☆	前野 光風	大日コンサルタント株式会社
☆	岩田 大輝	中日本建設コンサルタント株式会社
☆	上野航太郎	いであ株式会社
☆	葛谷 一貴	セントラルコンサルタント株式会社
☆	小林 和哉	株式会社復建エンジニアリング

2. 活動内容

2.1 各種会議等の開催

(1) 概要

若手の会 WG では、活動内容の検討等を目的として定例 WG を開催しました。
上記定例 WG に加えて、技術部会へ参加しました。

(2) 定例 WG

1) 開催目的

定例 WG は、本 WG の活動内容をメンバー同士で提案・議論を行い、各イベント等の内容を充実させることを目的としました。

2) 開催形式

開催形式は、メンバーの業務状況等を踏まえて以下の開催方式から選択して柔軟に対応しました。

- ・対面形式
- ・WEB 形式
- ・ハイブリッド形式（対面と WEB 併用）

3) 開催時期

定例 WG は、繁忙期を避けて 4～12 月の期間で月 1 回程度開催しました。

回数	開催日時
第 1 回	令和 7 年 4 月 18 日（金） 15：00～17：00
第 2 回	令和 7 年 5 月 23 日（金） 15：00～17：00
第 3 回	令和 7 年 6 月 13 日（金） 15：00～17：00
第 4 回	令和 7 年 7 月 10 日（木） 16：00～17：00
第 5 回	令和 7 年 9 月 18 日（木） 16：00～17：00
第 6 回	令和 7 年 10 月 17 日（金） 16：00～17：00
第 7 回	令和 7 年 11 月 13 日（木） 16：00～17：00
第 8 回	令和 7 年 12 月 11 日（木） 16：00～17：00

(3) 技術部会

1) 開催目的

技術部会の4委員会（道路委員会、河川委員会、構造土質委員会、都市計画委員会）と活動内容の報告と情報共有を図ることを目的としています。

2) 主な議題

技術部会の主な議題は、各委員会の直近（前回の技術部会以降）の活動結果と活動予定の報告、技術部会として各委員会の情報共有です。

3) 開催時期

技術部会は、拡大技術部会を含めて年4回開催しております。今年度の開催時期は、以下のとおりです。

回数	開催日	開催時間	備考
第1回	令和7年4月30日（水）	15:00～17:00	
第2回	令和7年7月30日（水）	15:00～17:00	
第3回	令和7年11月5日（水）	15:00～17:00	
第4回	令和8年1月28日（水）	15:00～17:00	拡大技術部会

4) 感想

各委員会の活動内容を把握することができ、若手の会としての取り組みとのすみ分けを意識しながら、今後の活動を検討することができました。

今後、技術部会の他の委員会とタイアップして若手協会員の資質向上や活性化につながる活動ができればよいと考えています。

2.2 「建コン WILLSUMMIT 2025」への参加

(1) 概要

「業界展望を考える若手技術者の会（本部若手の会）」が主催する「建コン WILLSUMMIT 2025」へ代表メンバーが参加しました。WILLSUMMIT 2025 では、各支部の活動報告と意見交換を行いました。

グループディスカッションでは「自然災害に対する理想の社会を描き建設コンサルタントの役割を考える」をテーマとし、東日本大震災の被災跡地の現場見学（門脇小学校、石巻地区かわまちづくり事業、東松島市野蒜ヶ丘団地）の後、建コン業界や若手の会がどのように被災復興地に関わって行けるかを議論し、他支部の若手技術者との交流を図りました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和7年11月20日（木）～22日（土）
- ・TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口（1,2日目）
- ・スタンダード会議室仙台あおば通り 333店（3日目）

(3) 実施内容

【1日目】

- 各支部の活動状況の報告と意見交換
- グループワークディスカッション①

<東日本大震災の事実を知り、教訓を学び、理想の社会を考える>

【2日目】

- 震災復興現場の見学（門脇小学校、石巻地区かわまちづくり事業、東松島市野蒜ヶ丘団地）
- グループワークディスカッション②

<自然災害に対して建コン/個人/技術者としての携わり方を考える>

【3日目】

- グループワークディスカッション③

<自然災害への携わり方を実現のために若手がどのようなアクションを起こせるのか考える>

(4) 感想

支部紹介と意見交換では、本部や全国若手組織の直近での活動を共有した。他支部がどのような目的のために何を実施しているのか、実行するうえでの集客や広報の手段などの質疑が行われ、現在行っている活動・今後新規で行う活動に対し参考となる情報を得ることができました。

グループディスカッションでは、東日本大震災からの復興状況を現場で見て、日常を取り戻している街並みを見た一方で、そこまでの道のりや被害から得た教訓を後世に残していく大切さを再認識しました。直近での石川や熊本地震、来るべく南海トラフ地震に対して、若手の会が技術部会の一員として何か活動を起こせるのではないかと感じました。



支部紹介



現場見学



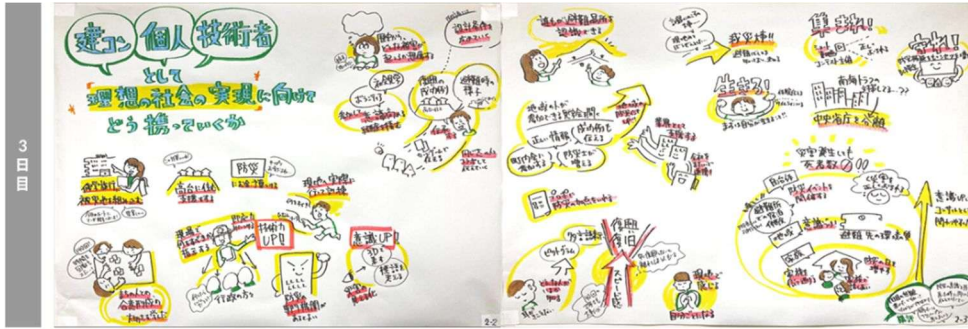
グループディスカッション



グループディスカッション発表

グループディスカッション内容のグラフィックレコーダー





2.3 中部支部役員と若手の会・女性の会の意見交換会

(1) 概要

本年も昨年に引き続き若手の会 WG と女性の会 WG、役員 の 3 者間で意見交換会を実施しました。

“将来の主役である若手技術者・女性技術者が、建コン業界にどのような要望や変化を望んでいるか”、“時代のニーズに沿った建コン業界の環境”、“各会の活動”等について意見交換を行いました。本年度は若手の会と女性の会が協力して、意見交換会の開催形式やタイムスケジュール等を立案し、開催しました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和 7 年 7 月 29 日（火）15：00～17：00
- ・アイリス愛知 2F

(3) 意見交換会のテーマおよび意見

女性の会、若手の会の活動内容や業界の人材育成など、以下の項目について、役員の方々に情報共有と意見をいただきました。

- 議題Ⅰ：今後の若手の会 WG の活動方針内容について
 - 活動予定内容①：業界内での交流会の実施
 - 活動予定内容②：若手発注者との意見交換会の実施
- 議題Ⅱ：若手協会員のキャリアプラン構築を見据えた技術力向上について



以降に各テーマで挙げられた主な意見を整理する。

【テーマ 1：今後の若手の会 WG の活動方針内容について】

- ・ 活動予定内容①：業界内での交流会の実施
 - 具体的な交流会の内容について
 - ✓ 「自社の良いところ（強み・先進的な取り組み）を話す会」から始め、相互理解を深めた上で、業界全体の改善策の議論に繋げてはどうか。
 - ✓ 活動の第一目的は、若手技術者間の人的な繋がりを広げることに置くべきで、若手の会及び女性の会の委員内で交流を図る必要がある。（過去にスポーツ交流会があった）
 - ✓ 運動会を検討しているのであれば、様々なリスクが考えられるため、リスクを低減できる方策、活動中の保険等について配慮が必要である。

- ✓ 「新工法に関する勉強会兼意見交換会」といった形式もある。技術交流会として「現場見学会」及び「技術発表会」等を実施しているが参加率は低い傾向がある。

➤ 協会各社へのアプローチ方法

- ✓ 先行事例として「けんせつ小町」や「女性の会」の活動実績が参考になるため、そのノウハウを参考に進めるのが良い。また、「建設コンフェア」が交流のきっかけとなり得る。
- ✓ メーカー等も含め、多様な関係者を一度に集めることは難易度が高いため、まずは「協会単位」に絞ってアプローチするのが現実的である。

・ 活動予定内容②：若手発注者との意見交換会の実施

➤ 発注者へのアプローチ方法

- ✓ 発注者へアプローチする際は、対外活動委員会が窓口となり、組織として協力する。
- ✓ 国土交通省自身が業界連携のための交流会を主催するケースもあり、同省が窓口となり得る。協会として若手の意見をまとめ、国土交通省企画部や愛知県企画課といった具体的な部署に働きかけることが有効である。
- ✓ 協会のHPや会報誌で若手技術者のインタビュー記事などを発信し、発注者に関心を持ってもらう広報的なアプローチも有効であるとの意見が挙げられた。(Cグループ)

【テーマ2：若手協会員のキャリアプラン構築を見据えた技術力向上について】

➤ 役員方が若手だったころ、キャリア形成についてどう考えていたか

- ✓ 何も教えてもらえなくても自分で頑張るしかなかった状況で、これが成長につながっていた。これからキャリアを考える若手には、まず技術士などの資格取得を明確な目標として設定し、計画的に取り組むべきである。
- ✓ 自身の経験として、若手時代は将来の管理職等を意識するよりも、まずは目の前の技術習得に専念した。特にお客様との対話を通じて自らの技術力を客観的に評価してもらい、その積み重ねによって自己の評価を確立し、結果としてキャリアが形成されていった。

➤ 若手技術者に不足していること、こうなってほしいという思い(忖度なく)

- ✓ 若手には一日も早く経験を積み、管理技術者として活躍してほしい。
- ✓ 現代は様々なノウハウやツールが普及し、情報がすぐ手に入るため業務は効率化している。その一方で、自ら試行錯誤して答えを導き出すという、スキルアップに繋がる貴重な経験の機会が減少していることを危惧している。そのため、若手の方から先輩・上司に対し、積極的に質問・相談するといった能動的なコミュニケーションを期待したい。
- ✓ 今後、AIの活用がさらにも進んでも、最終的な判断や最適な提案には、「現場の意見」が不可欠であり、その重要性を忘れないでほしい。
- ✓ 現在の若手に対し、特に不足していると感じることはない。

➤ 今の若手技術者に発信する方法について

- ・ パネルディスカッションやライトニングトーク（5分程度で議題について発表し、その後質疑応答を行うもの）のような、ワークショップ形式で話し合うことが挙げられる。

【改善点、今後について】

- 1 議題当たりの時間が少ない、もっと話したかったと役員側からも意見をいただいたため、開始時間や終了時間を見直し、意見交換の時間を確保することを検討する。
- 今回は、若手の会、女性の会の事前合同 WG を実施した。本会の開催に当たっての合同 WG のみでなく、定期的に意見交換を行うことが有効であると感じた。

(4) 感想

今期の若手の会には女性社員がいないこともあり、普段の WG では得られない女性視点の考え方を聞くことができました。役員の方々や女性の会からいただいた交流会の方法や若手に期待する気持ちに関しての意見を踏まえ、今後の活動にフィードバックしながら業界の活性化に向けて検討を続けていきたいと考えています。

2.4 インフラ整備構想協議会

(1) 概要

(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部は、協会支部としての意見を持ち自律した建設コンサルタンツの活動を展開していくことが必要と考えており、その一環として、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県からなる中部圏の未来に向けたインフラ整備構想を作成しました。この構想の内容や構成、活用の仕方などに関して、意見交換会を実施しました。

(2) 実施日時、場所

- ・ 第1回 : 11月9日(木) 13:00~14:50
: 建設コンサルタンツ協会 中部支部 3F 会議室
- ・ 第2回 : 12月10日(水) 15:00~17:00
: 建設コンサルタンツ協会 中部支部 1F 会議室

(3) 活動内容

中部圏インフラ整備構想について、道路委員会、構造土質委員会、若手の会、インフラ整備構想広報委員会で意見交換会を実施し、活発な意見交換が行われました。挙げられた主な意見の抜粋は以下の通りとなります。

- ・ 本構想の活用を更に促すため、コラムの充実を図ることが有効となる
- ・ 本構想を使用するタイミング、使用方法について具体化していくことが重要である
- ・ 各社の若手の意見なども取り入れ、広報を進めていくことも重要である



建設コンサルタンツ協会中部支部 中部圏インフラ整備構想

■本編の構成

7

はじめに(建設コンサルタンツの思い).....	1	Section 4 名古屋圏の将来構想.....	35
■ 序 章.....	3	4.1 新たなものづくりを支える基礎整備.....	37
		4.2 名古屋圏における都市間連携.....	38
		4.3 名古屋圏のリノベーション.....	39
Section 1 中部圏を取り巻く現状.....	5		
1.1 中部圏の魅力とシンビクブライド.....	6	Section 5 地場生活圏の将来構想.....	43
1.2 将来像を考える上での前提条件.....	11	5.1 インフラストックを有効活用した基礎整備.....	45
Section 2 構想の基本方針.....	19	5.2 地域自治体の魅力を最大限に活かした地域づくり.....	48
2.1 構想の考え方.....	19	5.3 自然トラフ地帯や大水害など大規模災害に対する被害の最小化.....	55
2.2 基本方針.....	20	5.4 地場インフラのDX化と新産業によるインフラメンテナンスの全容最適化.....	61
2.3 建設コンサルタンツが貢献できること.....	23		
Section 3 中部圏の将来構想.....	25	■ 本構想の刊行にあたっての謝辞のことば.....	63
3.1 東京一極集中型から分散・多核連環型の国土構造の転換.....	27	■ 后援者.....	65
3.2 グローバルセンターとしての安全・安心な交通ネットワークの構築.....	30	■ おわりに(建設コンサルタンツの取り組み).....	67
		■ 「中部圏インフラ整備構想」 推進委員会構成一覧.....	68

建設コンサルタンツ協会中部支部 中部圏インフラ整備構想

中部圏インフラ整備構想 概要版

(4) 感想

意見交換会を実施する中で、道路委員会、構造土質委員会、インフラ整備構想広報委員会と多くの委員会の方の意見・考えを知ることができ、大変有意義な時間となりました。次年度も継続して広報の一端を担うことを考えています。また、中部圏インフラ整備構想が掲げる「真の豊かさ」の実現に向けて、本構想を活用し、今後も中部圏および業界に貢献していきたいと思ひます。

2.5 学生 PR

2.5.1 「JobCafe in 名古屋」の開催

(1) 概要

学生が職業選択を行うにあたって「建コン」について知る機会、現状、インターンシップや新卒採用向けの企業説明会など、特定の企業とのつながりに限られています。

そのため、就職活動を控えた学生と若手技術者が自由に話すことで、学生側が「建コン」業界全体を知る機会と、有益な情報を得られる場を創出する目的で JobCafe の企画・開催をしました。

(2) 実施日時、場所

- ・ 令和 7 年 6 月 28 日（土）13：30～17：30
 - ・ BOND CAFE
- （愛知県名古屋市中村区則武 2 丁目 2 8 - 1 1）

(3) 実施内容

I. 建設コンサルタントの紹介

（業界の紹介、仕事内容・感想、業界の今後）

II. フリートーク

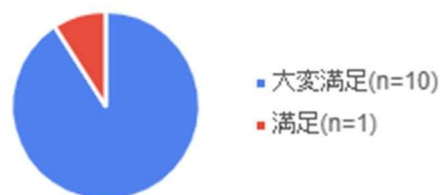
(4) 感想

参加学生の多くが、業界に対する理解が漠然としていましたが、業界紹介やフリートークを通じて、分野ごとの仕事内容や若手社員の働き方などについてコミュニケーションを図り、業界全体への理解を深める場となりました。

参加した学生の満足度も高いことから、今後も継続して開催することで、より建コン業界を知ってもらえるような情報発信の形を検討していきたいと思えます。



参加した満足度



2.5.2 あいち建設未来サロンへの参加

(1) 概要

愛知県が主催する学生への業界 PR の場である「あいち建設未来サロン」に参加して、就職活動を行う学生の方に対し“建設分野の魅力”を発信するとともに“建設分野に携わる若手人材の育成”を行うことを目的としています。

(2) 実施日時、場所

- ・豊田工業高等専門学校（令和7年11月28日(金) 15:10～16:40）
- ・名古屋工業高等学校（令和6年12月20日(金) 13:30～15:20）
- ・名古屋工業大学（令和8年1月26日(月) 16:20～17:50）

(3) 実施内容

【豊田工業高等専門学校】

- ・建設会社から3名、建設コンサル・公務員から各2名ずつ、計7名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

【名古屋工業高等学校】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各2名ずつ、計6名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

【名古屋工業大学】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から計18名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

(4) 感想

例年参加させていただいており、建コンの魅力を伝えていますが、建コン業界の認知度がなかなか浸透していない印象を受けました。しかしながら、主催者より「高校生にとっては、なかなか馴染みのない建コンという仕事ですが、建コンの仕事がよく分かったとのアンケート回答が多数あり、主催者としても大変嬉しく思います。」との報告を頂いたことから、あいち建設未来サロンを通して、建コンの認知度向上の効果があったかと思っておりますので、これからも同様の活動については継続していく必要があると考えます。



2.5.3 建設技術フェア 2025in 中部

(1) 概要

建設技術フェアとは、建設技術フェア in 中部運営委員会が主催しており、①産・学・官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資すること、②建設関連産業の進行、技術開発の推進及び商取引の拡大を図ること、③建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と方向性を紹介すること、④建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介することを目的としています。そのため、各企業や行政がブースを出展し、建設技術を紹介しています。

(2) 実施日時、場所

- ・令和7年12月4日（木）10：00～17：00／12月5日（金）10：00～16：00
- ・ポートメッセなごや 第3展示館

(3) 活動内容

若手の会では、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースを担当し、学生に対して建設コンサルタントに関して説明しました。

- ・12月4日（水）：若手の会より、3名参加（午前1名・午後1名・終日1名）
- ・12月5日（木）：若手の会より、4名参加（午前2名・午後2名）

(4) 感想

本イベントには、工業系の大学および高校から100名を超える学生の皆さんに参加していただきました。多くの学生の皆さんに建設コンサルタント業界（以下、建コン業界）を知ってもらい機会となり、その点については良かったと感じています。

一方で、ゼネコンの認知度が高いのに比べ、建コン業界の知名度はまだ十分とは言えない現状もあらためて感じました。すでに官公庁やゼネコンへの進路が決まっている学生さんから、「設計はゼネコンが行うものだと思っていた」という声を聞いた際には、建コン業界の役割や立ち位置が十分に伝わっていないことを実感しました。建コン業界の地位や認知度の向上は、今後も継続して取り組むべき重要な課題の一つだと考えています。

また、配布資料やパネル展示については、学生の皆さんにとってより分かりやすく、興味を持ってもらえる内容にするため、まだ改善の余地があると感じました。次年度に向けては、今回の気づきや反省点を踏まえ、若手の会として積極的に提案していきたいと考えています。



2.5.4 産官三機関合同インターンシップ

(1) 概要

中部地方整備局、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部が合同でインターンシップを実施しました。3機関の就業体験やグループワーク、若手職員との意見交換を通して各業種の特色及び公共工事の計画から調査・設計、工事、管理という一連の流れに対し、理解を深めてもらうことで、学生の進路選択をサポートしました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和7年8月25日(月)～令和7年8月29日(金) 5日間
- ・愛知建設業会館(1日目、5日目)、各社事務所、現場見学箇所等(2～4日目) 他

(3) 実施内容

- ・8/25(月):オリエンテーション、各業種の概要説明、
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」
- ・8/26(火):ゼネコンでの就業体験
(名古屋市内の建築現場見学、防災・減災について考える)
- ・8/27(水):建設コンサルタントでの就業体験(5社で受入)
(BIM・CIM体験、防災・減災について学ぶ)
- ・8/28(木):中部地方整備局での就業体験
(道路事業ルート検討体験、ダム事業現場見学、インフラDX関連施設見学)
- ・8/29(金):各業種の若手社員との意見交換、
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」、及び成果発表

(4) 感想

今年度で3回目の参加になりました。前回同様に参加者には好評であり、建設業全体として魅力をアピールできたと思います。次年度以降の開催については、ターゲット層の設定等について検討しているところではありますが、建設コンサルタントへの入職者増加のため、引き続き参画していきたいと考えています。



若手社員との意見交換会



グループワークの成果発表

2.5.5 建設コンサルタントフェア^⑧

(1) 概要

建設業界および建設コンサルタント業務の認知度向上を目的として実施された。液状化現象に関する啓発活動を担当した。

(2) 実施日時、場所

- ・実施日時：2025年11月8日（土）
- ・実施場所：中日ビル地下イベント広場（名古屋市中区）
- ・主催：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部

(3) 活動内容

【準備段階の取り組み】

- ・中日ビル現地確認を含む計4回の事前打ち合わせに参加
- ・イベントレイアウト案の検討および当日の実施内容について協議

【当日の展示・実演活動】

- ・パネル展示：液状化現象に関する事例紹介および解説パネルの展示
- ・デモンストレーション：実験ボトルを用いた液状化現象の実演
- ・来場者対応：専門用語を避け、図表・写真を活用したわかりやすい説明を実施
- ・フォトコンテスト投票：来場者参加型イベントの運営補助

【来場者層】

- ・小学生からシニア世代まで幅広い年齢層が来場し、以下のような交流があった
- ・学生層：建設業界への進路を検討している中高生との対話
- ・シニア世代：伊勢湾台風や東海豪雨などの災害経験者からの貴重な体験談

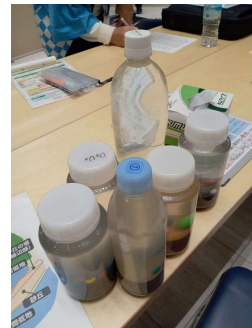
(4) 感想

【得られた成果】

- ・啓発活動の実現：一般来場者に対して建設コンサルタント業務の重要性と意義を直接伝えることができ、業界の認知度向上に貢献できた。
- ・説明スキルの向上：専門知識を一般の方にわかりやすく伝える経験は初めてであったが、専門用語を避け説明ができた。この過程で、自分自身の液状化現象に関する理解も深まった。
- ・多世代との交流：幅広い年齢層の来場者との対話を通じて、災害の歴史や地域の記憶を学ぶことができ、視野の拡大につながった。
- ・業界の魅力発信：建設業界を志す学生との交流により、次世代育成の重要性を再認識した。

【今後の展望】

今回の経験を活かし、今後も同様の啓発活動に積極的に参加し、建設業界の発展に貢献していきたいです。また、一般市民と専門家をつなぐ架け橋としての役割を担い、建設コンサルタントの価値を広く伝えていきたいと思えます。



2.6 図夢 in 中部への投稿

【55号（令和7年前期）】

技術部会

若手の会WG

委員 長井 克成

「中部若手の会WG」は、令和7年度になり平成29年の発足から9年目（第5期目）に突入しました。

今期は公募により3名（3社）を追加し、15名（15社）の体制で活動します。令和6年度下半期の活動内容と令和7年度上半期の予定を報告させていただきます。

< 令和6年度下半期の活動内容 >

1. WILLSUMMIT

1.1 目的

「業界展望を考える若手技術者の会」が主催するWILLSUMMITに本部や他支部と親睦を図りつつ、意見交換や若手の会のアクションに繋がるアイデアを創出するために参加しました。

1.2 開催日時・開催場所

- ・令和6年11月21日（木）～22日（金）
- ・東京スカイツリーイーストタワー 貸会議室（12F）



< 写真-1 WILLSUMMIT代表ディスカッション >

1.3 感想

全国の技術者とのグループワークや意見交換を通じて、建コンの魅力や改善点を再認識することができました。今後も熱い想いをもち、業界活性化に向けて取り組みたいと感じる会となりました。

2. 建設技術フェア2024

2.1 開催日時・開催場所

- ・令和6年11月28日（木）、11月29日（金）
- ・ポートメッセなごや第3展示館

2.2 開催概要

建設技術フェアにて、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースに参加し、学生の方々へ「建設コンサルタント」の仕事について説明を行いました。

2.3 感想

今年度の展示方法について、まだまだ改善の余地はあったと感じました。各企業が参加している中で、協会としての立場を踏まえて、若手の会

として提案できることを積極的に提案していきたいと思います。



< 写真-2 建設技術フェア >

3. あいち建設未来サロン

3.1 開催日時、開催場所

- ・令和6年11月22日（金）大同大学
- ・令和6年12月20日（金）名古屋工業高等学校
- ・令和7年1月20日（月）名古屋工業大学

3.2 開催概要

愛知県が主催する学生への業界PRの場で、就職活動を行う学生の方に“建設分野の魅力”の発信をする。

3.3 感想

「建設業界の仕事がよく分かったと大変好評であり、皆さまのおかげで、生徒さんにとって、有意義な時間になった」との報告を頂いたことから、建コンの認知度向上の効果があつたと感じています。これからも同様の活動について、継続的に参加していきたいと思います。



< 写真-3 あいち建設未来サロン >

< 令和7年度上半期の活動予定 >

昨年度下半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

- ① JOB Café：昨年度に引き続き、今年度も実施いたします。ただし、昨年度の参加者数が少なかったことから、本年は各社夏のインターンシップより早い時期での開催予定です。（6/28（土））
- ② 役員との意見交換会：女性の会とともに、中部支部役員に対して、若手の会の活動内容に関する意見交換を行う予定です。（7/29（火））
- ③ 若手技術者の交流会：立場の違いによる働き方等のギャップを共有し、今後の在り方を考えるよいきっかけとなる、交流会の実施を目指します。

技術部会

若手の会WG

委員 葛谷 一貴

「中部若手の会WG」は発足から9年目を迎え、本年度より全15社からなる15人体制で活動しております。本稿では令和7年度上半期の活動内容と令和7年度下半期の予定について報告させていただきます。

1. 令和7年度上半期の主な活動報告

(1) JobCafe

昨年は学生参加者が4名であったが、今年は広報活動を積極的に取り組んだことにより、13名の学生が出席した。

- ・開催日：令和6年6月28日（土）13:30～17:30
- ・場 所：BOND CAFE
- ・参加者：大学生：13名

若手の会：10名、女性の会：3名

- ・内 容：建設コンサルタントの業界説明と学生からの質疑対応を行いました。

【開催結果】

昨年より多くの学生にご参加いただき、「建コン業界について理解が深まった」、「実際に働いている若い世代の意見が聞けて良かった」等の好評を得られました。



集合写真

(2) 令和7年度 中部支部役員と若手の会・女性の会WG との意見交換会

- ・開催日：令和7年7月29日（火）15:00～17:00
- ・場 所：アイリス愛知2F(大会議室 コスモス)
- ・参加者：役員：11名、若手の会：8名
女性の会：20名

【開催結果】

若手WGと女性の会から挙げた議題に対して役員の方から様々なご意見をいただきました。来年はタイムスケジュールを見直し、より有効な意見交換会を実現したいと考えています。



意見交換会の様子

(3) 産官三機関合同インターンシップ

- ・開催日：令和7年8月25日（月）～29日（金）
- ・場 所：愛知県建設業会館
- ・参加者：学生12名

【開催結果】

グループワークを通じて、建設コンサルタントの業務体験の補助を行いました。アンケート結果も好評であり、建設コンサルタント業界の役割と魅力を学生に効果的にPRできました。



発表の様子

(4) 令和7年度下半期の主な活動予定

- 1) 建設コンサルタントフェア 2025(11月8日)
フォトコンや液状化の紹介、中部圏インフラ整備構想の案内など予定しており、若手として建設コンサルタントの知名度向上を図ります。
- 2) Willsummit(11月20日～22日)
本部若手の会主催で全支部の若手の会が集まり、支部の活動内容共有、被災地復興見学、グループワークを通じて支部間の交流を行います。今後の活動内容の参考にしたいと考えています。
- 3) 建設技術フェア in 中部(12月4日,5日)
ブース内において学生への業界説明を予定しており、建設コンサルタントの魅力を伝えます。
- 4) あいち建設未来サロン
愛知県が主催する学生への業界PRの場であり、以下の日程で参加を予定しています。
 - ・豊田工業高等専門学校：11/28(金)
 - ・名古屋工業大学：12/22(月)
 - ・名古屋工業高校：1/26(月)

3. 感想と今後

3.1 年間の活動を通して

今年は、メンバー入れ替えが多く、継続メンバーが少ない中でのスタートとなりました。継続メンバーを主体に新規メンバーの積極的な参加もあって、定例会を円滑に進めることができました。その結果、例年通り JobCafe や、女性の会と協力して実施した「中部支部役員と若手の会・女性の会との意見交換会」を開催することができました。また、メンバーに若手の会としてやりたいことを意見聴取し、来年度に向けて新たなイベントを計画することができました。

現在、若手の会 WG は技術部会に所属していますが、活動内容は総務部会に近いものがあります。そのため、“女性の会 WG”と協力し、連携することがこれからの課題であると考えます。一方で、技術部会に参加していることのメリットを活かし、若手協会員が技術的な福利を享受できるように継続的に考えていきたいと思っています。それに向けて、若手の会 WG の活動意義を再度明確にし、若手の会 WG メンバーおよび若手協会員にとって有意義な活動ができるように議論していきたいと思っています。

3.2 来年度の活動方針

来年度も、今年度実施したイベントは継続しつつ若手協会員、建コン業界が活性化していけるように主体的に活動していきたいと考えています。

3.2.1 未来の若手技術者を確保する取り組み（学生 PR）

【今後の活動案①】JobCafe（継続：6月）

JobCafe に参加いただいた学生の方からは、建コンについて理解が深まったといった意見を、事後のアンケートより得られました。昨年より、参加者数が増加したがカフェの定員が少ないことが課題となっています。来年は引き続き、大学等へのアプローチを行い、6月頃に開催するとともに、カフェの場所を変更するなどして更なる参加人数の増加を目指し、学生への PR を行っていく予定です。

【今後の活動案②】「西区民お祭り広場(庄内緑地公園)」への出展

建設業界の中で、施工者（ゼネコンなど）の認知度は高い一方で、設計者である建設コンサルタントの認知度は低いという現状に対して、不特定多数（特に親子連れ）が集まるイベントに出展することで、子ども・親世代に建設コンサルタントという業界が存在することを知らせ、次世代の担い手確保に繋げていきたい。このような思い、若手の活気・雰囲気を活かして、認知度向上に向けた活動を予定しています。

3.2.2 若手技術者の意識を良い方向へ

【今後の活動案】中部支部役員と若手の会 WG・女性の会 WG との意見交換会、

今後は2年に1回の頻度で実施を予定しています。内容については、女性の会 WG と調整しながら検討していきますが、若手の会としては「若手協会員の活性化に向けた今後の活動」についても議論を主軸に意見交換することを考えています。

3.2.3 会社同士のつながりによる業界の発展

【今後の活動案】会社同士の交流会、建コン主催の運動会

他支部の若手の活動では、会社同士の交流会を開催しています。中部支部でも将来的には、同様の機会を設けることで、立場の違いによる働き方等のギャップを共有でき、今後の在り方を考えるよいきっかけになると考えます。

現在行っている、女性の会との意見交換会の継続、本部や他支部との交流会は継続しつつ、中部支部を起点とした、各交流会を通して活動の幅を広げていきたいと考えています。